質問回答書

業　務　名　　くるめ市民流水プールプールサイド塗装修繕

※質問内容の文言については、一部編集を行っております。また、事業者様の質問にそれぞれ回答しておりますので、重複した内容もあります。

番号	書類名	頁数など	質　問　事　項	回　答
1	本工事費内訳書 幼児プール詳細図	設計書　1頁（B1号） 図面 A-002	ゴムチップ層再構築部について、既存ゴムチップ層の撤去厚及び新設層の設計厚をご教示ください。作業手順の使用量8.0kg/㎡で再構築し、既存部と段差なく仕上げる計画ですが、撤去後の下地欠損補修を見込む場合は、その範囲・仕様もご教示ください。	下地の損傷は無いものとして設計おります。損傷部の補修が必要な場合は、損傷の状況に応じて設計変更について協議します。
2	本工事費内訳書 幼児プール詳細図	設計書　1頁（B1号） 図面 A-002	ゴムチップ層撤去・再構築（12㎡）について、全体ではなく一部分の劣化・損傷箇所を対象とした部分補修との認識でよろしいでしょうか。また、既存ゴムチップの径（㎜）、再構築時のチップの径（㎜）、厚さ及び使用材料・仕上げ仕様をご教示ください。	記載されている通り、図面A-002に示す範囲の劣化・損傷した部分補修となります。 既存ゴムチップの径は資料が残っておらず不明です。再構築のクッション層の設計については、日本特殊塗料㈱のユータックUグラウンドコートを想定しており、厚さは10mmとしています。なお、本製品については径の規格はありません。また、上塗り（２回目）の防滑仕上げに使用するゴムチップの径は0.2㎜を採用しております。なお、同等品以上とする性能基準は使用材料承認申請書を含む施工計画書を施工前提出の上、承認後の施工となります。
3	本工事費内訳書 幼児プール詳細図	設計書　1頁（B7号） 図面 A-002	モルタル補修2箇所（各10cm×10cm）について、設計で見込む補修深さ、使用材料及び既存脆弱部のはつり範囲をご教示ください。図示範囲を超える欠損が確認された場合の取扱いもご教示ください。	設計で見込む深さは10cm、使用材料は混合比(1:3)の普通ポルトランドセメントと砂です。施工範囲は、目視確認できる範囲の欠損部を除去し、モルタル充填後に金ゴテ仕上げを想定しております。現在、図示範囲以外で補修が必要な欠損は見受けられませんが、必要に応じて設計変更について協議します。
4	本工事費内訳書 流水プール詳細図	設計書　1頁（B8号） 図面 A-003	二重貼工法の発泡シート仕様について、1層目「2重貼工法用特殊発泡シート」の設計で想定する製品、厚さ、接着剤及び標準使用量をご教示ください。また、内訳のt=3.0mmは2層目の防滑性ビニル床シート単体の厚さを示すものと考えてよろしいでしょうか。	１層目の特殊発泡シートの設計については、タキロンマテックス㈱のナイスレイシート、接着剤はタキボンド#601(300～400g/m2)を想定しております。なお、同等品以上とする性能基準は使用材料承認申請書を含む施工計画書を施工前提出の上、承認後の施工となります。 各層の厚さについては、１層目の特殊発泡シートがt=3.0mm、２層目の防滑性ビニール床シートがt=2.9mmとなります。
5	本工事費内訳書 流水プール詳細図	設計書　1頁（B8号） 図面 A-003	長尺シート撤去・防滑性ビニールシート張り（t=3.0㎜）について、図面記載の「タキストロン　ヒートシールドMX(同等品以上)」と、判断するための性能基準（防滑性能・耐水性・耐久性等）をご教示ください。また、内訳書記載の厚さ3.0㎜は、2層構造全体の厚さを示すものか、表層シート単体の厚さを示すものかについてもご教示ください。	図面 A-003に記載しているタキロンマテックス㈱のタキストロン ヒートシールドＭＸは、摩耗しても同じ柄を維持するインレイド構造、重歩行に対する耐摩耗性、防滑性、床衝撃音遮断性、屋外で使用可能な耐候性、床面の温度上昇を抑制する遮熱・赤外線反射性、カビに強い防カビ性の機能を有しております。他社の製品を採用する場合、上記に示す機能同等以上であることをご確認ください。なお、同等品以上とする性能基準は使用材料承認申請書を含む施工計画書を施工前提出の上、承認後の施工となります。 各層の厚さについては、１層目の特殊発泡シートがt=3.0mm、２層目の防滑性ビニール床シートがt=2.9mmとなります。
6	本工事費内訳書 流水プール詳細図	設計書　1頁（B10号） 図面 A-003	端末シール処理（プール排水側溝取合部(120m)）について、図面記載でシート材に応じた材料を使用。との事ですが、今回採用する防滑ビニールシートのメーカーが指定する端末処理剤・シーリング材を使用する。との認識でよろしいでしょうか。	問題ありません。
7	本工事費内訳書 流水プール詳細図	設計書　2頁（B11号） 図面 A-003	樹脂モルタル塗り18㎡（幅500mm）について、平均塗厚及び最大塗厚をご教示ください。	最大塗厚は8mm程度、平均塗厚は4mm程度を想定しており、プールサイドの側溝と段差が生じないよう高さ調整してください。
8	本工事費内訳書 流水プール詳細図	設計書　2頁（B11号） 図面 A-003	樹脂モルタル塗りについて、使用材料のメーカー・製品名・施工厚さ及び下地処理・仕上げ仕様などをご教示ください。	樹脂モルタルについてはメーカー等の指定はありませんが、設置するシート類の接着剤との相性を考慮して材料選定をお願いします。施工高さは、最大塗厚は8mm程度、平均塗厚は4mm程度を想定しており、プールサイドの側溝と段差が生じないよう高さ調整してください。
9	本工事費内訳書 プールサイドベンチ詳細図	設計書　2頁（B12号） 図面 A-004	プールサイドベンチ補修塗装（木製）について、図面記載の塗装工程に使用する各材料のメーカー・製品名及び製品仕様をご教示ください。また、使用材料についてメーカー等の指定はなく同等品の使用が可能との認識でよろしいでしょうか。	公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)（令和7年版）P267第7章第5節合成樹脂調合ペイント塗り（SOP）による木部の塗装の仕様によるもので施工してください。なお、指定するメーカーなどはありません。